

第52回加西市公共交通活性化協議会 協議結果

■第52回加西市公共交通活性化協議会の開催状況

○開催日程

令和6年1月25日（木） 10:00～11:30

○開催場所

加西市民会館 3階 小ホール

○協議参加者

20名（委員18名 オブザーバー2名）

○傍聴者

0名

■協議結果

○協議事項1 「加西市公共交通活性化協議会規約の改正について」

全会一致により承認

○協議事項2 「地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について」

全会一致により承認

○協議事項3 「日吉地区乗り合いタクシーの業務廃止及び登録申請について」

全会一致により承認

○協議事項4 「福崎町・加西市連携コミュニティバスの廃止について」

全会一致により承認

○協議事項5 「『地域主体型交通導入の手引き』の改訂及び『地域主体型交通運営の手引き』の策定について」

議論の対象でなく報告のみ行った。

■会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
議長 全員	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 加西市公共交通活性化協議会規約の改正（資料1）について （事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加西市公共交通活性化協議会規約の改正について、協議が整ったことで承認いただけるか。 ・異議なし
委員	<p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（資料2）について （事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は現在ハッピーバスを運転している者である。先程ハッピーバスの利用者数が減少しているという話もあったが、一人でも多くの人にはハッピーバスを利用してもらうためにはどのようにすれば良いのかを調査すべきであると考えている。ハッピーバスをどのように利用すれば良いのかわからないといった方もいると思われるので、土日に西在田地区で疑似乗車体験といった形で利用してもらい、ねっぴ～号にも乗り継げることも認識していただくことで、一人でも多くの方にはハッピーバスを利用していただきたいと考えている。今後、自動車運転免許証の返納者も増加し、現在はハッピーバスに乗車している方もさらに高齢となっていく。このため、次の世代の方たちの利用も増やそうと思っており、NPO 法人原始人の会とともに、地域の区長にも声かけを進めていきたいと考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人原始人の会が過去に各家庭を周り、各家庭の事情に応じた利用方法を伝える取組を行った際には、その後の利用者が増加していたと思う。委員が言われた乗車体験をグループ単位で行うことで、友達と一緒に外出するといったことも可能であると思われる。
専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・5ページの「4. 具体的取組に対する評価」の右上の図は、加西市の地域内フィーダー系統補助事業の評価の図であるが、経済性評価基準を下回っている路線もある。これは全国的に燃料代、人件費等が値上がりしていることが理由の一つとしてあると思われる。このような社会情勢の変化も含め、評価基準自体を見直していくことも必要だと思う。加西市の歳入が物価高に応じて増加するならば良いが、そうでないのであれば、加西市で経済のバランスを踏まえて検討していた

議長	<p>だきたい。しかし、運行コストは交通事業者の皆様が努力して切り詰めていると思われるので、やむを得ないコストの上昇はあるだろうと思う。また、その他の要素も含めて今後は経済性、公共性評価の基準値が妥当かどうかを見直していくことが必要であり、本協議会で協議できれば良いのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の発言に対して補足説明をすると、現在の経済性評価のボーダーラインが2,000円/人となっているが、この2,000円は2011～12年頃に検討し設定した数値だったと認識している。燃料高騰などにより、当時の2,000円より現在の2,000円の価値は変化している。現在の物価上昇に合わせて基準値を見直していくのは必要だと思う。また、5ページにある「コミュニティバス等乗車人員及び市内人口の推移」が、冒頭のあいさつで述べさせていただいたコミュニティバス利用者のグラフとなり、2010年を底にしてU字回復をしているのがわかる。昨今のコロナ禍で利用者は減少したものの、近年では利用者が増加しているということが、コミュニティバス事業者と住民などの努力の成果である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、協議が整ったことで承認いただけるか。
全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし
<p>(3) 日吉地区乗り合いタクシーの業務廃止及び登録申請（資料3・補足資料）について</p>	
<p>（事務局より資料説明）</p>	
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補足資料を見ると、特に火曜日に利用者が多くなっているが、これはスーパーで割引サービス等を実施しているなどの理由があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ おそらくイオンの火曜市などが関係していると思われる。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火曜日の移動が多いとなると、利用促進を行うことで火曜日の利用も増えることになるが、積み残しが発生することはないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のところ利用者が増加したとしても問題ないと考えている。理由としては、日吉地区乗り合いタクシーは現在2台で運行しているが、2台とも出動することがほぼ無い状況であることから、火曜日に利用者が増加したとしても対応は可能である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人になくてはならない移動手段として、日吉地区乗り合いタクシーが定着できれば良いと思う。
専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページ目の「2 廃止を行う団体等」には種別と廃止日が記載されているが、

事務局	<p>「3 新たに登録を行う名称等」では種別も廃止日も記載されていない。神戸運輸監理部に申請するにあたって問題はないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ページ目の資料は本協議会での説明用資料として準備したものであり、「1 内容」に日付、「4 自家用有償旅客運送の種別」に種別を記載はしているものの、同じ形式で記載した方が伝わりやすかったと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日吉地区乗り合いタクシーの廃止届及び登録申請について、協議が整ったことで承認いただけるか。
全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし
	<p>(4) 福崎町・加西市連携コミュニティバスの廃止（資料4）について （事務局より資料説明）</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福崎町・加西市連携コミュニティバスの廃止について、協議が整ったことで承認いただけるか。
全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし
	<p>(5) 「地域主体型交通導入の手引き」の改訂及び「地域主体型交通運営の手引き」の策定（資料5）について （事務局より資料説明）</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のスケジュールについて再度説明いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年3月開催予定の第53回加西市公共交通活性化協議会は書面協議を予定しており、その際に各種手引きの最終案を提出させていただこうと考えている。この最終案を踏まえて内容について協議いただき、最終決議していきたいと考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域主体型交通の運行を検討するにあたっては、地域主体型交通導入の手引きで実際に計算を行い、導入に係る費用を確認することが重要である。また、サービスを上げて欲しいという意見は利用者からよく言われることではあるが、サービスを上げるということは費用がかかり、さらには運賃が高くなるということに繋がる。このような実情を踏まえて、運用方法を決めていただければと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終的には今年度末に行われる第53回加西市公共交通活性化協議会で決定ということになるが、その間に今回協議した各種手引きを皆様に確認いただき、気付

事務局	<p>いたことがあれば意見をいただければ有り難い。このため、各種手引きの承認は次回の決議とし、それまでに内容を確認いただくことを次回までの課題とさせていただきます。なお、私が現時点で対応いただきたい修正としては、地域主体型交通運営の手引きの14ページにある「誓約書」に出典を記載していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見いただいたとおり、出典を記載させていただきます。
専門委員	<p>3 報告事項</p> <p>(1) 現行計画の施策・事業の実施スケジュール（資料6）について</p> <p>(2) 令和5年度事業の実施状況（資料7）について</p> <p>（事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料6「施策・事業別の実施時期」で整理している内容は、地域公共交通計画で定めた事業をいつ実行するのかが可視化されるため、非常に良い資料を作っていたと思う。というのも、地域公共交通計画を作成すること自体が目的となっている自治体も多いためである。私がお手伝いしている某協議会では、計画書を改定して次の計画を立てる際に、どこまで計画が実施できたのかということ「○」「△」「×」の3段階で評価しているが、5年間の計画期間の3年目に評価を行うと、ほとんどが「×」か「△」で、「○」が非常に少なかったことがあった。このような状況になると、計画最終年に慌てて事業を実施しなければならないという状況に陥ることになる。加西市の事業としても、実際には計画最終年までに全てが完了しないかもしれないが、市民の目から見て、適切に計画が実行できていると思ってもらうためにはどうしたら良いのかバックキャストを行い、将来を見据えているという意味では分かりやすく良い資料ではないかと思う。あるいは最近よく聞くタイムラインという言葉が形になっているものだと思う。また、この表は計画が当初想定していた形で実施できているのか、あるいは想定していた効果を上げているのかといったことも含め、フォローアップの際に評価しておく必要があると思っている。具体的には、いつどのような形で実施したのか、つまりフォローアップの評価書みたいなものができれば良いと考えている。また、資料7の事業実施状況を毎年度整理されると思われるが、これら2つを組み合わせるとフォローアップ評価書になるのではないかと思う。さらに、事業を実施したというだけでなく、その結果市民の生活の質がどれだけ向上したかといった事も整理できればなお良いと思われる。この結果、現行計画で実施できなかった事業を次期計画に委ねていくことも視野に入れておくべきである。最終的には地域公共交通計画の事業が実施できた、と胸

議長	<p>を張って言えるようになればと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門委員にいただいた意見を様々な機会を活かしていければと思う。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ねっぴ～号は市内の循環交通を担っていると認識している中で、以前、多可町内でねっぴ～号を見かけたのだが、どのような経緯で多可町まで運行しているのか。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市が所有しているねっぴ～号の車両は1台のみであり、ねっぴ～号の路線を運行している他の3台のバスは、神姫バスに委託していることもあり、ねっぴ～号と同色に着色して使用いただいている。したがって、八千代北条線については、ねっぴ～号と同じ着色の車両を使って運行をしている時がある。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、多可町で運行されていたのはねっぴ～号ではないのか。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ねっぴ～号の着色をした神姫バスが所有している車両を、一部流用されているということになる。
議長 神姫バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・似たような車両が運行していることにより、利用者に混乱は発生していないか。 ・大和から北条まで運行していた路線が神姫バスの都合で短絡化し、その路線を引き継いで現在八千代小学校からイオンモール加西北条まで運行している。その路線は毎日乗車人数を記録しているが、ねっぴ～号利用者としてカウントはされておらず、あくまで神姫バスの路線バスとして利用されている。同様に今現在、社北条線もねっぴ～号と同色に着色されたバスを使用しているが、こちらもねっぴ～号利用者としてカウントはされていない。
議長 神姫バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に混乱がないのであれば問題ない。 ・利用者が限定されている路線になるため、混乱が起こる状況ではない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料6「施策・事業別の実施時期」にある「⑦市街地線の機能強化」に「北条鉄道とのパターンダイヤ検討」とあるが、パターンダイヤ化の検討はすぐにでもできるので、実施時期は前倒しをお願いしたい。また、「⑧企業と連携した公共交通利用環境改善の推進」は、企業の皆様と連携して公共交通の利用環境を改善していくという事業となるが、私に関心を持っているとこなべ工業団地の利用者数の近年の増加を踏まえて、工業団地側と加西市の産業部門が密にコミュニケーションできれば良いと思う。こちらに関しても、事業実施時期の前倒しをお願いしたい。 ・資料7「令和5年度事業実施状況」について、在田地区の地域主体型交通がボランティア輸送で登録を必要としない輸送となっている。このバスを公共交通の

事務局	<p>空白地として位置付けることは難しいという話だったが、公共交通空白地はバス路線の有無だけではなく、時間的な空白も含めて考えても良いので、再度確認いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在田地区の方々と公共交通空白地に関して協議させていただいたが、当初から時間的な公共交通空白地のことは意識しており、1日4便運行されている八千代北条線の沿線は公共交通空白地とみなしても良いのではないのかと考えていた。しかし、ねっぴ〜号の中富口バス停が交通結節点となっていることもあり、そのバス停には1時間に2便バスが停車する時間帯もあることから、公共交通空白地として認めるのは厳しいという結論に至った。また、はっぴーバスの芥田線が運行されていることもあり、公共交通空白地と呼べる地域が無いのではという結論に至った。一方で、地域の方々は公共交通空白地でなくても、地域全域で乗り継ぎなく目的地に行けるようにしてほしいといった思いがあり、ボランティア輸送での運行を目指すこととなった。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア輸送はメリットとデメリットの両方があり、地域に負担がかかるということも踏まえて、地域の皆様が決められたのであれば応援したい。なお、ねっぴ〜号やはっぴーバスの利用者を取り合いしないように調整をお願いしたい。
事務局	<p>4 その他</p> <p>次回協議会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第53回協議会は、令和6年3月中旬頃に書面での開催を予定している。協議内容としては、各種手引きの最終版について審議いただく予定である。 <p>5 閉会</p>